

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 高次エピゲノム機構の作動原理と医学的意義の解明
2. 研究代表者： 中尾光善（熊本大学発生医学研究所 教授）
3. 中間評価結果

本研究課題は、高次エピゲノム機構の制御と医学的意義の解明を目指しており、DNAメチル化やヒストン修飾などのクロマチンの情報を基礎として、インスレーター等で形成されるクロマチン・ループ、転写ファクトリーやヘテロクロマチンなどが配置された核内ドメインに重点を置いており、独創的な研究である。高次エピゲノム機構の制御の解明のみならず、新たな現象の発見や疾患の克服につながる研究など、新しいエピゲノム研究展開が期待できる。

国内外問わず複数のグループと共同研究を実施中であり、本研究領域内部の他のチームとの連携もすすめており、CRESTの特徴の一つであるバーチャルネットワーク型研究所としての強みを活用している。さらに、企業連携についても積極的に行われると、さらなる研究の加速につながるのではないかと予想される。

全体として順調に成果がでているので、さらに研究を加速するとともに成果の公表もできるだけ早く行われることを期待する。

以 上